

[東京工業大学 2014 年前期 3]



1 個のさいころを投げて、出た目が 1 か 2 であれば行列 $A = \begin{pmatrix} 0 & 1 \\ -1 & 0 \end{pmatrix}$ を、出た目が 3 か 4 であれば行列 $B = \begin{pmatrix} 0 & -1 \\ 1 & 0 \end{pmatrix}$ を、出た目が 5 か 6 であれば行列 $C = \begin{pmatrix} -1 & 0 \\ 0 & 1 \end{pmatrix}$ を選ぶ。

そして、選んだ行列の表す 1 次変換によって xy 平面上の点 R を移すという操作を行う。

点 R は最初は点 $(0, 1)$ にあるものとし、さいころを投げて点 R を移す操作を n 回続けて行ったときに点 R が点 $(0, 1)$ にある確率を p_n 、点 $(0, -1)$ にある確率を q_n とする。

- (1) p_1, p_2 と q_1, q_2 を求めよ。
- (2) $p_n + q_n$ と $p_{n-1} + q_{n-1}$ の関係式を求めよ。また、 $p_n - q_n$ と $p_{n-1} - q_{n-1}$ の関係式を求めよ。
- (3) p_n を n を用いて表せ。

